

## 「千葉県水道局中期経営計画」に基づき平成19年度に 実施した施策等の評価結果について（概要）

### 1 評価結果の概要

平成19年度においては、重点推進事業である51事業（7事業に細分化されている安全で良質な水の供給関連事業を合わせると、57事業）について、評価を実施しました。評価結果の概要は次のとおりです。

#### 《評価ランクについて》

##### ○内部評価

達成状況（a：達成している b：概ね達成している c：達成していないが進展している d：進展していない）

今後の取組（a：事業を拡大し継続 b：計画どおり継続 c：事業を縮小し継続 d：事業休止または廃止）

※「今後の取組」欄の「-」は、事業が完了したことにより評価を行っていないもの。

##### ○外部評価

評価の妥当性（A：妥当である B：概ね妥当である C：不十分である）

#### （1）基本目標 1

「より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道を目指します。」

（重点推進事業数：21）

	内 部 評 価					外部評価
	a	b	c	d	評価なし (-)	
達成状況	10	8	3	0	0	A
今後の取組	0	19	0	0	2	

#### （2）基本目標 2

「現行料金を維持できるよう経営基盤の強化を目指します。」

（重点推進事業数：10）

	内 部 評 価					外部評価
	a	b	c	d	評価なし (-)	
達成状況	6	4	0	0	0	B
今後の取組	0	10	0	0	0	

### (3) 基本目標3

「お客様により信頼される水道を目指します。」

(重点推進事業数：11)

	内 部 評 価					外部評価
	a	b	c	d	評価なし (-)	
達成状況	6	3	2	0	0	B
今後の取組	0	10	0	0	1	

### (4) 基本目標4

「地震等の非常時にも強い水道を目指します。」

(重点推進事業数：15)

	内 部 評 価					外部評価
	a	b	c	d	評価なし (-)	
達成状況	7	7	1	0	0	A
今後の取組	0	11	0	0	4	

### (5) 基本目標1～4の計

	内 部 評 価					外部評価
	a	b	c	d	評価なし (-)	
達成状況	29	22	6	0	0	
今後の取組	0	50	0	0	7	

## 2 評価委員会における意見等

別添「施策評価調書（基本目標別）」の「外部評価委員会の総評」及び「外部評価委員会での主な意見」のとおり。

## 3 評価結果の公表

10月下旬を目途に水道局ホームページ等に掲載します。

## 4 評価の活用

このたびの評価委員会において、内部評価が十分でない旨の指摘もいただいていることを踏まえ、評価制度に対する職員の更なる意識向上に努めるとともに、評価結果については、中期経営計画の実効ある推進に資するものとなるよう、今後の施策展開に反映してまいります。

併せて、評価手法の改善を図り、PDCA マネジメントサイクルの確立に取り組んでまいります。

「中期経営計画」における基本目標・主要施策・重点推進事業

基本目標	主要施策	重点推進事業		
<p>1 より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道を目指します。</p>	(1) 安定給水の確保	1.水需要見通し 2.ダム建設支援事業 3.ちば野菊の里浄水場（仮称）江戸川浄水場 建設工事 4.（仮称）房総導水路系浄水場整備事業 5.船橋給水場リニューアル工事 6.栗山浄水場老朽化更新工事 7.浄水場等設備更新工事 8.八ヶ崎～五香六実線布設工事 9.鋳鉄管更新工事 10.配水区域の細分化 11.水運用センターの設置		
	(2) 安全で良質な水の供給	12-1.おいしい水づくり計画の推進 12-2.残留塩素の低減化 12-3.管路の維持管理強化 12-4.貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進 12-5-1.高度浄水処理の導入（施設整備） 12-5-2.高度浄水処理の導入（調査研究） 12-6.鉛給水管の更新		
	(3) 環境保全対策の推進	13.太陽光・マイクロ発電設備工事 14.省エネルギーの推進工事 15.再資源の推進		
	<p>2 現行料金を維持できるよう経営基盤の強化を目指します。</p>	(4) 効率的な経営の推進	16.組織・職員数の計画的管理 17.事務経費・工事コストの縮減 18.民間委託の拡大 19.P F I の導入	
		(5) 経営体質の強化	20.経営分析の活用 21.情報化の推進 22.料金体系の研究 23.将来の経営形態等の研究	
		(6) 技術の継承	24.水道技術実務研修	
		(7) 人材育成の充実	25.職員能力向上	
		<p>3 お客様により一層信頼される水道を目指します。</p>	(8) 給水サービスの充実	26.宅地内鉛給水管更新助成制度の検討 27.未普及地区の普及促進
			(9) 窓口サービスの充実	28.収納形態の多様化 29.検針会社による日曜日等の現地精算 30.接客マナー向上 31.バリアフリー化整備工事
			(10) 情報サービスの充実	32.広報ビデオ活用 33.ホームページの充実 34.携帯電話活用の情報提供
	(11) 相談等広聴サービスの充実		35.お客様満足度アンケート調査	
	(12) 情報セキュリティの充実		36.情報漏洩防止対策	
	<p>4 地震等の非常時にも強い水道を目指します。</p>	(13) 危機管理体制の充実	37.危機管理体制の強化 38.非常時職員参集管理システム整備 39.被害情報収集管理システム整備 40.危機管理用備品整備 41.自家発電設備の整備 42.防災行政無線の整備 43.各種情報通信手段の有効活用 44.市村との連携強化 45.各種訓練の実施	
		(14) 震災・渇水等対策の推進	46.千葉分場地下水活用 47.企業団との相互融通 48.印旛（組）緊急連絡管整備 49.機場間バックアップ体制整備 50.庁舎耐震整備 51.浄給水場耐震整備 52.管路耐震整備	